

## 信州大学と連携した水関連分野の事業について

企画部大学誘致連携推進室

### 1 信州大学が開催するシンポジウムについて

- (1) 題名 「中部圏から全国へ! 水技術を活用したまちづくりシンポジウム」
- (2) 日時 令和6年12月17日(火) 午後2時から
- (3) 場所 中日ビル(名古屋市)
- (4) 共催 東海・信州国立大学連携プラットフォーム(C<sup>2</sup>-FRONTS)・信州大学
- (5) 後援 一般社団法人 中部経済連合会
- (6) 内容
  - ア 基調講演 Eco<sup>2</sup>-FRONTS(「環境」×「経済」の先進地)を目指して  
飯田市長 佐藤 健
  - イ 企業、名古屋大学及び信州大学による講演

### 2 南信州地域・信州大学連携推進協議会が開催する講演会について

- (1) 題名 ～世界が注目するノーベル賞候補  
信州大学堂免一成教授の研究が南信州でスタート～  
「水と光だけでつくるグリーン水素の不思議」
- (2) 日時 令和6年12月22日(日) 午前10時から
- (3) 場所 エス・バードホール(オンライン配信併用)
- (4) 主催 南信州地域・信州大学連携推進協議会
- (5) 共催 信州大学
- (6) 後援 長野県
- (7) 申込方法 オンラインフォーム又は会員団体を通じての申込
- (8) 内容
  - ア 信州大学による取組の説明  
南信州地域におけるグリーン水素の実装に向けた取り組み  
説明者 信州大学 アドミニストレーション本部 宮原 大地
  - イ 講演
    - (ア) 太陽光と水から創る水素の意義と利用法  
講師 信州大学 特別特任教授 堂免 一成
    - (イ) 南信州地域における水素利活用の可能性について  
講師 一般社団法人水素供給利用技術協会 理事・事務局長 池田 哲史
  - ウ 展示  
光触媒による水素発生パネル  
水素関連技術の展示

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)

中部圏から全国へ!



# 水技術を活用した まちづくり シンポジウム

2024年

12月17日(火)

14:00~ (受付開始 13:30)

交流会

シンポジウム終了後~16:45

場所

中日ビル 6F 中日ホール&カンファレンス ROOM1

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-1-1

形式

現地開催(120名)+オンライン配信

申込方法

右記二次元バーコードの申し込みフォーム  
に必要事項を入力ください。

申込期限: 2024年12月10日(火)

参加無料

※定員を超えた場合は先着順とさせていただきます



共催

東海・信州 国立大学連携プラットフォーム (C<sup>2</sup>-FRONTS)  
国立大学法人 信州大学

後援

一般社団法人 中部経済連合会



お問合せ先

信州大学アクア・リジェネレーション機構事務局

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1

TEL: 0263-37-3347 FAX: 0263-37-2038

MAIL: ahsu-event@shinshu-u.ac.jp

# 中部圏から全国へ！ 水技術を活用した まちづくりシンポジウム

2024年12月17日(火) 14:00～ (受付開始 13:30)

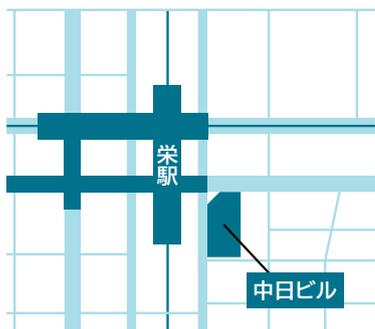
## 趣旨

C-FRONT は、2024年1月に発足した東海地域の7国立大学法人8大学が一体となった枠組みです。同5月に信州大学が新たに加わりC<sup>2</sup>-FRONTS(東海・信州国立大学連携プラットフォーム)と改称し、活動を開始しています。枠組みの主目的は産業界・自治体を巻き込みながら、東海地域及び長野県内のイノベーションの創出と優秀な留学生の増大を目指すものです。

一方で、信州大学は水を中心とする地域環境再生に関わる諸分野「アクア・リジェネレーション分野」の研究力強化に取り組んでいます。2023年12月に文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」に採択され、より一層の研究の卓越性・イノベーションの創出・地域貢献を3本の矢として一体推進しています。これらにより長野県の県境を越えた広域連携による新たな価値創出に向けた経営ビジョンであるVision for Greater Shinshu Universityの実現を目指しています。

このような信州大学の取り組みは、C<sup>2</sup>-FRONTSの主目的とも重なる部分が多く、長野県内に限らず、東海地域でも拡がり期待されます。信州大学は、中部経済連合会との継続的な情報交換を進め、C<sup>2</sup>-FRONTSの一員として水技術のシンポジウムを名古屋にて行い、東海地域の産業界や自治体に周知する事を検討してまいりました。今般のシンポジウムでは、信州大学が新設した研究組織「アクア・リジェネレーション機構」を通じて、水の実証タウンの取り組みを紹介します。信州大学はC<sup>2</sup>-FRONTS・中部経済連合会と一体になり、東海地域及び長野県内における産業界や自治体の水技術に対する興味や関心を更に高められればと考えております。

## アクセス



## プログラム 開会 14:00 閉会 16:20

### 司会

杉原伸宏 信州大学副理事・副学長/学術研究・産学官連携推進機構

### 開会挨拶

松尾清一 東海国立大学機構/機構長

清水聖幸 信州大学/研究、産学官・社会連携担当理事

### 御来賓挨拶

水野明久 中部経済連合会/会長

御来賓 文部科学省/科学技術・学術政策局

### 基調講演

Eco<sup>2</sup>-FRONTS(「環境」×「経済」の先進地)を目指して  
佐藤健 飯田市長/南信州広域連合長

### 招待講演

エア・ウォーターの地産地消・資源循環の取り組み  
江口明日美 エア・ウォーター(株)/エネルギーソリューショングループ  
地球の恵みファーム グループリーダー

### 講演

AI・マテリアル開発支援  
齊藤永宏 名古屋大学/未来社会創造機構  
マテリアルイノベーション研究所/教授

水からグリーン水素を製造する光触媒の開発  
久富隆史 信州大学/アクア・リジェネレーション機構/教授

信大クリスタルが織りなすまちづくり  
手嶋勝弥 信州大学/アクア・リジェネレーション機構長  
学長特別補佐/卓越教授

### 閉会挨拶

中村宗一郎 信州大学/学長

## お問合せ先

信州大学  
アクア・リジェネレーション機構事務局  
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1  
TEL: 0263-37-3347 FAX: 0263-37-2038  
MAIL: ahsu-event@shinshu-u.ac.jp

南信州地域・信州大学連携推進協議会主催  
水素社会の実現に向けた講演会

# 水と光だけでつくる グリーン水素の

# 不思議

lecturer



どう めん かず なり  
**堂免一成**教授

信州大学特別特任教授 / 東京大学特別教授

1982年東京大学大学院博士課程を修了。理学博士。東京工業大学助手・助教・教授を経て2004年から東京大学大学院工学系研究科教授。現在は信州大学と東京大学のクロスアポイントメント教員。主な研究分野は水分解光触媒、不均一触媒、材料科学、表面科学。現在の研究テーマは太陽光を用いて水から水素を製造する光触媒の開発と実用化。光触媒分野の第一人者。総著書論文数(1980-2024)は、1000を超える。総引用回数は100,000回以上にのぼり、h-index は 147(Web of Science)。2024年クラリベイト引用栄誉賞受賞。



いけ だ てつ ふみ  
**池田哲史**氏

一般社団法人水素供給利用技術協会(HySUT) 理事・事務局長

1980年 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了  
1980年 日本石油(株)(現ENEOS(株))入社  
中央技術研究所にてプロセス触媒開発、炭素繊維  
複合材料開発、定置式燃料電池システム等の開発を担当  
2005年 同 水素・新エネルギー研究所長  
2008年 4月(財)石油産業活性化センター出向  
(現(一財)カーボンニュートラル燃料技術センター)  
2011年 水素供給利用技術研究組合出向(2013年より技術本部長)  
2016年 4月より現職  
2022年 1月より国際規格ISO/TC197(水素技術)国際議長

2024 **12.22** 日

どなたでもご参加いただけます

**入場  
無料**

時間 10:00~12:10(開場 9:30~)

会場 エス・バード ホール+オンライン配信(長野県飯田市座光寺3349-1)

●主催：南信州地域・信州大学連携推進協議会 ●共催：信州大学 ●後援：長野県

参加の  
お申込み

オンラインで参加される方は事前のお申し込みが必要です。会場で参加される方も準備の都合上、事前のお申し込みにご協力ください。当日参加も可能です。

**参加申込方法** 右記2次元コード又は下記URLよりお申込み  
ください【参加申込締切:2024年12月19日(木)】  
申込みフォーム: <https://forms.gle/KqbCCgFhycTWGNDq9>



**H<sub>2</sub>**  
HYDROGEN

信州大学は、令和5年12月に文部科学省の「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」の採択を受け、水の浄化や水由来の水素エネルギー関連の研究力を核としたアクア・リジェネレーション分野における研究の卓越性、イノベーション創出、地域貢献を一体的に推進する事業を展開します。

この事業では、南信州地域において、産業振興と人材育成の拠点エス・バードに光触媒を用いたグリーン水素生成の研究の拠点を置くこと、そして、地域とともにグリーン水素を暮らしや産業で利活用する「実証タウン」の形成に取り組むことを計画しています。

今回の講演会では、世界の研究者が注目する論文の著者に贈られるクラリベイト引用栄誉賞を受賞し、将来のノーベル賞候補の一人とされている信州大学特別特任教授の堂免一成教授からエス・バードで研究を進める光触媒を用いたグリーン水素生成の研究の持つ意味や世界に与えるインパクトについて、そして、水素ステーションの普及など水素エネルギーの供給及び利用に取り組んでいる一般社団法人水素供給利用技術協会 理事・事務局長の池田哲史氏から南信州地域における水素の活用の可能性についての講演をいただきます。

みんなで水素を利活用した暮らしや産業のイメージを共有し、これからの社会において水素がどのような役割を担うのか考える機会としたいと思いますので、住民の皆さん、企業の皆さんなど、多くの方のご参加をお願いいたします。

## プログラム

開場 9:30

開会・あいさつ 10:00~10:05

南信州地域・信州大学連携推進協議会 会長 佐藤 健 (南信州広域連合長/飯田市長)

信州大学による取組の説明 10:05~10:15

### 南信州地域におけるグリーン水素の実装に向けた取り組み

説明者：信州大学アドミニストレーション本部 宮原大地

講演 10:15~12:05 (途中休憩10分)

### 太陽光と水から創る水素の意義と利用法

講師：信州大学特別特任教授 堂免一成

### 南信州地域における水素利活用の可能性について

講師：一般社団法人水素供給利用技術協会 理事・事務局長 池田哲史

閉会・あいさつ 12:05~12:10

信州大学 学長 中村宗一郎

## 水素関連技術の展示

- 光触媒による水素発生パネルの展示
- 水素関連技術の展示



光触媒による水素発生の様子

## お問い合わせ

### 飯田市企画部大学誘致連携推進室

〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534 TEL.0265-22-4511  
E-mail: idaigaku@city.iida.nagano.jp

### 南信州広域連合事務局

〒395-0034 長野県飯田市追手町2-678 長野県飯田合同庁舎5階  
TEL.0265-53-7100 E-mail: kouiki@minami.nagano.jp

